

# SAPPORO 教区 NEWS

第32号  
2020年9月30日

発行：カトリック札幌司教区事務局広報部  
〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10

Tel.011-241-2785／ホームページ：http://www.csd.or.jp

## パンデミック後の私たちがとるべき道とは

司教 勝谷 太治

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）との戦いは、長期にわたる様相を帯びています。その中であつて、私たちの教会もミサや集会が制限されています。共同体としての互いの交わりを自粛する状況は今後もしばらく続けなければなりません。これは、札幌教区や日本の教会に限らず、世界の教会が直面している問題です。先日、教皇様は「世界宣教の日」のメッセージを出されました。

その中で、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）のパンデミックがもたらした今年、私たちは思いもよらない激しい突風に不意を突かれ、わたしたちは自分たちが同じ舟に乗っていることに気づかされたと言っておられます。皆弱く、先が

見えなくても、だれもが大切で必要な存在なのだ。皆でともに舟を漕ぐよう求められています。だけれども互いに慰め合わなければならぬのだ。わたしたちは心底おびえ、途方に暮れ、不安にさいなまれ、痛みと死により、人間のもろさを痛感していると同時に、だれもが生きたい、悪から解放されたいという強い思いを抱いていること。そして、こうした状況においては、宣教への呼びかけと、神と隣人への愛のために自分の殻から出るようにとの招きは、分かち合い、奉仕し、執り成す機会として示されること。そして、神から各自に託された使命は、おびえて閉じこもる者から、自分を差し出すことによる。自らを取り戻し、新たにされる者へとわた

心を増幅することなどはなく、他者とのかかわり方にこれまで以上に心を配ることであるべきです。また、祈り——その中で神はわたしたちの心に触れ、働きかけておられます——を通して、わたしたちの心は、兄弟姉妹が求める愛と尊厳と自由へ、すべての被造物の保護へと開かれます。感謝の祭儀を祝うために教会として集うことができなくなつたことで、わたしたちは、主日ごとにミサを行えない多くのキリスト教共同体の境遇に触れることができました。こうした状況の中で、神は再びわたしたちに問いかけておられます。「だれを遣わすべきか」。そして、物惜しみしない確信に満ちたこたえを待つておられます。「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください」（イザヤ6・8）。神は、ご自分の愛と、罪と死からの救いと、悪からの解放をあかしするために、世界と諸国民のもとに遣わす人を探し続けておられます。」

司教 勝谷 太治

- ① 換気を充分に行なう。
- ② 隣のひととの距離を充分に空ける。（およそ2メートル）
- ③ 参加者はマスクを使用する。
- ④ 聖歌を歌うことは避ける。
- ⑤ 聖堂や信徒会館の入り

ミサ・集会の祭儀を実施するにあたっての条件

口に、手指消毒用のアルコールを設置する。

⑥ 聖堂入り口などに用意された聖水盤は、使用を控える。(聖水ではなく聖水盤に不特定の人が触れる事による接触感染を防止する為)

⑦ 司祭や臨時の聖体奉仕者は、必ずミサ前に念入りに手を洗う。

⑧ 司式司祭は飛沫感染を避けるため、チボリウムやパテナをパツラで覆うか、マスクを使用する。(集会祭儀司会者もマスクを使用する)

⑨ 口(舌)での聖体拝領はしない。

⑩ ミサの前にチボリウムの中へ信徒用の小さいホスチアを信徒各自が入れることはしない(ピンセットの使い回しを避ける為)。典礼係など特定の人が奉納の前に概数を入れるようにする。

⑪ 聖体拝領はホスチアのみにして御血の拝領はとりやめる。

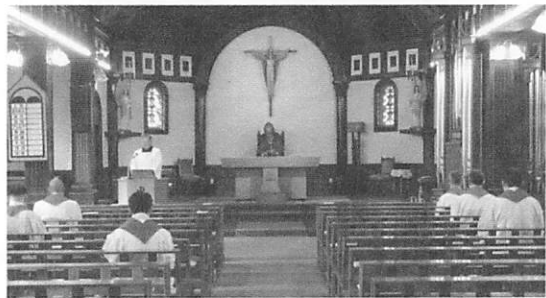
⑫ 不特定の方々が接触するドアノブなどの消毒をこまめにする。ミサ前、人が座るよう指定されているベンチ等の消毒を行う。

⑬ 感染者が出た場合リンクをたどることができるとしてしておく。必要に応じて名前と連絡先をその都度記録する。その際、ペンの使いまわしは避ける。

◆その他  
体調不良の場合は、無理をせずに、ミサの参加の自粛をお願いします。具体的には、咳、発熱、呼吸困難ですが、特に、咳や発熱などの風邪症状がある人は当面の間、ミサに来ることをお控え下さい。

なお風邪に類似した症状で体調が優れない場合は、主日のミサに与る義務を免除します。また、高齢者や持病がある方等、ミサに参加することに不安を感じる人の義務も免除します。

### 「今までにない聖週間」

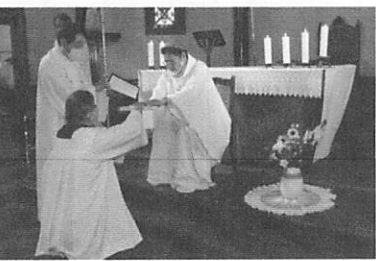


今年、わたしたちは前代未聞の聖週間を過ごしました。それは、新型コロナウイルスの感染拡大によって、集会やミサが原則禁止されたため、一年で最も大切な時である「聖週間」を自粛の中で迎えざるを得なかったという事です。そのため、司祭たちは会衆のいない聖週間を送らざるを得ませんでした。勝谷司教の呼びかけで、札幌近郊の司祭たち8名が札幌教区カテドラル北一条教会に集まり、聖木曜日か

ら復活の主日までの4日間、司教司式の典礼を行いました。感染防止の観点から、聖木曜日には「洗足式」も行わず、徹夜祭には「光の祭儀」も省かれました。しかし会衆も典礼内容も省かれるようなミサが行われるのも前代未聞でありながら、司祭がこれだけ集まって聖週間典礼をとるにも行わないこともこれまでにない経験で、これからもきつとないことであると思うと、どこなく荘厳な気分になる出来事であり、改めて司祭一同が心を合わせ、感染の終息を願うひとときとすることができました。

朗読奉仕者は教会から福音宣教の務めを託されている司牧者の指導のもとに、典礼集会で神のみことばを朗読し、子どもや大人に教理を教えて秘跡にあずかる準備をさせ、またキリスト教を知らない人々に救いの神秘を宣べ伝えます。(注：朗読奉仕者・祭壇奉仕者選任式の司教の言葉より)

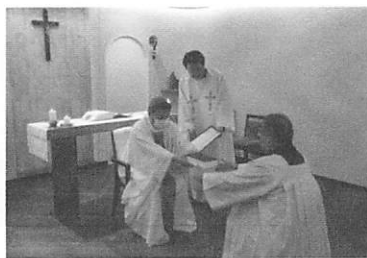
また、祭壇奉仕者は教会の司牧責任者の指導、



=祭壇奉仕者選任式=

### ジヨルジュ桶田達也終身助祭候補者 朗読奉仕者選任式と 祭壇奉仕者選任式が行われる

2020年6月16日(火)13時から札幌司教館聖堂で朗読奉仕者選任式、9月8日(火)14時から札幌カテドラル北一条教会で祭壇奉仕者選任式が、共に勝谷太治司教の司式で行われた。



=朗読奉仕者選任式=

監督のもとに、司祭や助祭の仕事に協力し、また奉仕者として、病人も含めて信者に聖体を受け取る務めが託されます。(注) いずれも新型コロナウイルス感染が収まらない状況のため、当事者と担当司祭など少人数の参加で執り行われた。今後順調にいけば半年後に終身助祭叙階となる予定である。皆様のお祈りを願います。

### 故使徒ヨハネ池島巫羽神父様の 命日祭ミサを行う



2020年6月20日(土)

11時から北一条教会において勝谷司教様司式のもと行なった。全国的に新型コロナウイルス感染防止のための非常事態宣言が解除された後ではあったが、教区としては感染防止のため、十数名の司祭と数名の親族、そしてお手伝いしていただいた北一条の信徒の参加により、故使徒ヨハネ池島巫羽神父様の命日祭ミサが執り行われた。池島神父様は2018年6月20日(享年95歳)に帰天された。

ミサの説教で勝谷司教

は、池島神父が活躍されていた頃は、司祭ごと小教区が委ねられていた。司祭や信徒の高齢化などで今私たちが直面している事態や、全世界の現状など思いもよらなかったことだと思う。今は、限られた資材、人材でどのようにしていくか考えなければならぬ。司教の諮問会議で、ある小教区のデータで月定献金を収めている年齢構成のデータが示された。60歳以上の方々が90%、40代はわずか2%である。教会で活躍して頂かないといけない世代が2%である。今から何らかの改革に取り掛かっていかないといけないと痛感している。今、何をしないといけないのか。司祭のみでなく信徒と一緒に考えていかないといけない。池島神父様をはじめ亡くなった方々の取り次ぎを願って祈っていきま

を願って祈っていきま

### 大麻教会新聖堂の献堂式



2020年8月10日(月・祝日)に、勝谷司教司式で大麻教会新聖堂の献堂式を行いました。

しょう。と結ばれ、心を合わせてお祈りした。

#### 【略歴】

1923年4月20日 樺太で生まれ豊原教会で受洗  
1956年12月21日 司教叙階  
1957年から山鼻、円山、北一条教会で助任司祭

1962年から千歳、山鼻、三笠、恵庭、千歳教会で主任司祭  
2004年から恵庭、千歳、北広島教会の協力司祭  
2009年から月形藤の園などで静養

2018年6月20日 帰天

に設置された亡き佐藤博子さん制作の6枚のステンドグラスは、新聖堂に大麻教会の心を繋げています。

前教会堂に掲げられていたご復活のイエズス像は、「古い」磔刑像になりました。掲げられるべきは磔刑像でなければならぬとのことで、探していた私たちに森田神父様はあずかっている十字架があるとのことでした。

司教館倉庫に保管されていたその十字架は、優しいお顔のイエズスさまで、拝見したわたしたちはまったく虜になってしまいました。しかし、その、廃止になった旭川の末広教会に掲げられていた十字架は、塗装が剥げ、体に亀裂がはしり、裸のしつこいがむき出しになっていて個所もありました。紹介していただいた場崎仰太郎さんが、その古い十字架の修復を引き受けてくださいました。

前聖堂の祭壇は新聖堂の祭壇です。前聖堂の十字架の道行きは新聖堂に掲げました。現代的な趣の新聖堂に前聖堂からのものたち、古い歴史を持つ十字架を得て、大麻教会は新しい一歩を踏み出します。(大麻教会前運営委員長 佐藤聡智)

(住所の枝番が1から9に変わりました)  
069-0854  
北海道江別市大麻中町9-9

もうひとつは、ステンドグラスです。前教会堂

に設置された亡き佐藤博子さん制作の6枚のステンドグラスは、新聖堂に大麻教会の心を繋げています。前教会堂に掲げられていたご復活のイエズス像は、「古い」磔刑像になりました。掲げられるべきは磔刑像でなければならぬとのことで、探していた私たちに森田神父様はあずかっている十字架があるとのことでした。司教館倉庫に保管されていたその十字架は、優しいお顔のイエズスさまで、拝見したわたしたちはまったく虜になってしまいました。しかし、その、廃止になった旭川の末広教会に掲げられていた十字架は、塗装が剥げ、体に亀裂がはしり、裸のしつこいがむき出しになっていて個所もありました。紹介していただいた場崎仰太郎さんが、その古い十字架の修復を引き受けてくださいました。



=大麻教会の鐘楼=

# 室蘭教会130周年 フランス人の司祭によって

フランス人の司祭に  
よって、この地に福音の



宣教が広められてから、  
130年の献堂を祝う記  
念ミサが8月30日(日)室蘭  
教会出身の勝谷司教の主  
司式によって行われた。

コロナ感染拡大の状況  
で、本来ならば地域各教  
会のメンバーの参加を得  
て行う予定も不可能とな  
り、室蘭教会信徒のみで  
行うこととなった。ま

# 殉教者聖ゲオルギオのフランシ スコ修道会「来日100周年」



神父によるミサが捧げ  
られ、シスターたちが心  
を合わせて感謝の祈りを  
捧げた。

1920年5月31日に  
最初の3人の姉妹たち、  
Sr. M. Candida、Sr. M.

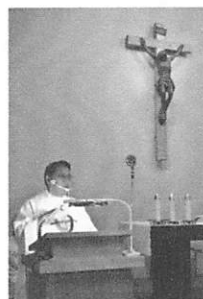
札幌に日本管区本部を  
持つ殉教者聖ゲオルギオ  
のフランシスコ修道会  
は、2020年8月18  
日、来日100周年を迎  
えた。これに先立ち17日  
午後、本部修道院聖堂で  
は勝谷太治司教とマルク

Jeanne Berchmansと  
Sr. M. Xaveraが日本の  
宣教地に派遣され、長い  
船旅の後、8月14日夜来  
日、4日後の8月18日  
朝に、約束された宣教  
地、札幌に到着。以来本

た、聖歌の斉唱もできな  
い形になり、その代わり  
にミサの前後にザルツブ  
ルク大聖堂の献堂記念ミ  
サの歌をCDで聖堂内に  
流して、このミサにあ  
たつての厳かな雰囲気  
を感じてもらうことにし  
た。ミサは、週日と同じ  
ように続唱の形で行つ  
た。久しぶりに全員で与  
かるミサに参加できる喜  
びを感じた。

130年の間、多くの  
聖職者や信徒の犠牲と努  
力により、青森県、埼玉県に  
おいて教育及び福祉の分  
野で「藤」の愛称で親し  
まれ、使徒的宣教活動に  
尽力してきた。残念なが  
ら新型コロナウイルス感  
染拡大の心配から記念行  
事は中止となったが、シ  
スター達は100年の歩  
みの記念を各共同体にお  
いて5月31日から様々  
な形で、8月18日の  
100周年当日の夕のミ  
サでは、100年前の8  
月19日にキノルド司教が  
最初のミサで本修道会の

力のうちに、受け継がれ  
た室蘭教会が、この地に  
主のみ言葉を伝えて行く  
教会として、存在し続け  
ていくことを切に願いた  
いと思う。



【130年前の様子】

1981(明治24)年  
函館教区が設立されベル  
リオーズ司教が叙階され

た。ベルリオーズ司教は  
アイヌ民族に関心を持  
ち、アイヌ民族への福音  
宣教の目的で室蘭教会を  
設立した。洗礼者名簿の  
第一号は絵柄(えとも)

村(現在、室蘭市内)の  
3人のアイヌ民族の人た  
ちだったそうである。  
ベルリオーズ司教は、パ  
リ外国宣教会のジュリア  
ン・フルソー神父、ウルバ  
ン・フォリー神父を派遣  
し、室蘭を中心に、胆振  
管内、日高管内にかけて

宣教活動を開始したのが  
室蘭教会の開始である。  
また、当時用意された教  
会堂は、既舎を改造した  
3つの部屋があるだけの  
粗末なものだったそうだ  
が、ルソー神父はペトレ  
ームの再現だと喜び、整  
理に励み、7月26日聖ア  
ンナの祝日に、ベルリ  
オーズ司教によって祝別  
されたのが初代室蘭教会で  
あると伝え聞く。

防ぐために、来日百周年  
記念の最初の計画を全て  
キャンセルして、藤学園  
講堂ではなくマリア院聖  
堂でシスターだけでの感  
謝ミサになったため、逆  
に、全員のシスターがミ  
サに参加でき良かったこ  
と、イベント化しないで  
済んだので静かに感謝を  
捧げる日となって良かつ  
たこと等の感想が聞かれ  
た。そして、この感謝の  
心を大先輩のシスターた  
ちに向けると同時に、こ  
れからの生活の中でどう  
深めていくかが大切と  
語っていました。

宣教を聖母マリアに捧げ  
られたので、シスター達  
はその奉獻を更新、天に  
召された132名の姉妹  
たち一人一人のために  
「100の数字」をあら  
わしたローソクを灯し感



Sr. マリア・テレジタ・  
ゴールドベック管区長  
は、これからお祈りで  
感謝のうちに皆様と結ば  
れて、そして「わたしは  
世の終わりまで、いつも  
あなたがたと共にいる」  
(マタイ28・20)という  
イエス様の約束のみ言葉  
に信頼しながら、未来に  
向かって歩みたいと思ひ  
ます。これからもどうぞ  
よろしくお願ひいたしま  
すと語られています。

感謝ミサに参加された  
シスターからは、新型コ  
ロナウイルス感染拡大を

# 青少年の活動

## 「ティータイム・カテキズム企画しました」

今年の5月から、実験的に札幌教区の青年を対象に、オンラインでのカテキズム講座を企画しています。その名も「ティータイム・カテキズム」。講師は札幌教区の青年担当でもある佐久間神父様です。この企画は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて始めたわけではなく、以前から計画を進めていたものでした。わたしは以前から、これからの教会が青年をどのように受け入れていくかが課題であると感じていました。

少子高齢化の時代になりながらも、青年がいなわけではないのに教会には青年がいな「どうしてだろう」と悲しい気持ちを感じていました。しかし、ワールド・ユース・デーや、海外の学校との学生間交流を通



じて出会った青年達との交わりの中でとてもいい刺激を受けたことを機に、自分に何ができるのかを考えました。きつと暗闇の中にも光があるはずだと信じていろいろと考え、あるとき自然と神

様が背中を押したような感覚があり、自分なりの福音宣教をしようと青年会の代表を引き受けることを決意しました。

青年会としての活動を考える中で、どうすれば教会外の青年が教会に興味を持つてもらえるのだろうかと考えたところ、「教会に来てもらう」のではなく、オンラインで「どこからでも参加できる」カテキズム講座を開いてはどうかと思い、青年委員会で提案したところ、この「ティータイム・カテキズム」の企画が決まりました。

はじめの一歩から、カトリックを学んでみませんか？

## ティータイム⇨カテキズム

～ONLINE～

カトリックの教えについて、神父様が講座を行います！  
信者、未信者問いません。  
お茶を片手に気軽に参加してください！  
10代・20代のみなさんの参加をお待ちしています！  
(企画 カトリック全道青年会)

★ビデオ通話(ZOOMのアプリ)で気軽に参加できます！  
参加してみたい人、質問がある人は、  
まずはインスタでフォローしてDMしてください！

全道青年会インスタ@catholicsapporoyouth

## 聖心生が昨年から原爆投下75周年記念の平和祈念サイレント・ウォークに参加

昨年夏、姉妹校交流SOFESワークショップで、核兵器廃絶を訴える国連NGOリボン・インターナショナルが、今年8月に行う原爆投下75周年記念の平和祈念のサイレント・ウォークのためにリボンを作り、今年2月に国連研修生が国連本部で田野純国際代表にお

渡しました。

残念ながら、今年の8月1日(土)の大規模な行事は新型コロナウイルスのため中止となり、代わりにZoomが行われ、高3生児玉優子さんがピアノ演奏で出演しました。

写真にニューヨーク図書館で掲げられる聖心生のリボンと黙祷を捧げる委員会メンバーです。



ニューヨークの委員会メンバーから、聖心生が作ったリボンをもってサ



=国連前の Dag Hammarskjold Plaza (ハマースホルド広場) で=

名前由来は「オンライン・カテキズム」だと固すぎる、という意見が出てみると気軽に楽しめるネーミングが良いというところで、お茶をしながら気軽に聞けるカテキズム講座という思いで、

んなで決めました。この計画は昨年から考えていましたが、実際にコロナ禍にあつて教会に集まるのが難しくなったことを考えると、時代にかなつた福音宣教の企画と感じています。

なお、この「ティータイム・カテキズム」は、オンライン会議システム「Zoom」を利用して、毎月第4水曜日の夜7時から開催しており、どなたでも参加できます。高校生や大学生、青年で、

カトリックの教えに興味のある方が周りにいれば、是非誘ってください。参加を希望される方には、インスタグラムなどで参加リンクをお送りします。(インスタでcatholicsapporoyouthと検索してください。フォローして下されば幸いです。)

青年会代表 角谷海音  
(かどやみおん)

## カリタス家庭支援センター支援活動の現場から 新型コロナウイルスによる生活困窮者への「特別寄付」

今年に入り突如世界を襲った新型コロナウイルス。社会に甚大な被害をもたらされました。これまでの生活様式とは異なりマスクをし、適切な距離感のもと人と関わり、ウイルスに感染することを避けるため自粛生活をする。これまでにない体験と生活を私たちは強いられています。



こうした状況の中、カリタス家庭支援センターでは4月末に教区難民移住移動者委員会と共に新型コロナウイルスの影響で生活が苦しい状況にある方々への支援活動を行うことを決めました。センターの会員・賛助会員・寄付会員の方々に寄付を募り、4月～8月にかけて寄付金4,963,149円が集まり、これまで2,952,281円を個人131名、団体2名に緊急一時金として一人現金2万円（個別の状況に合わせて金額設定）とお米5kgの支援を行いました。そのほとんどが留学生（ベトナム、ヨルダン、ホンジュラス、ミャンマーなど14か国）、技能実習生（ベトナム）、シングルマザー（日本）、大学生（日本）、専門学生（日本）で、宿泊業や飲食業、通訳、塾講師などで働いている方々です。センターへはそれぞれが所属するコミュニティや団体、教会関係、口コミなどを通じて支援活動を知り繋がっています。

困窮の声には、「シフトの減少から収入が減少し家賃を払うのもやっ」と（外国人労働者）、「自粛生活に伴い、学校が休校になり子どもが家にいることから食費がかさみ生活を圧迫している」（シングルマザー）、「道外から進学し親からの仕送りを受けているが親の仕事が新型コロナウイルスの影響を受け仕送りが不足している」（大学生）、「母国も新型コロナウイルスの影響を受け親族からの仕送りが途絶え、大学ではアルバイトが制限され配偶者と子どもを含む家族全体の生活が苦しい」（留学生）などです。

支援金の他、皆様から頂いた手作りマスクやテレホンカード、商品券も合わせて支援物資の購入等に充て、テレホンカードについては、新型コロナウイルスにより入国管理局から一時的に仮放免で出されている方々が、母国との連絡手段になるとの情報が入り128枚を支援しました。

支援活動を通して強く

感じることは、とりわけ日頃から社会的に弱い立場にある人々の存在です。今後、支援活動が私たちの手だけで完結するものでなく、国や行政に働きかけていくことも必要なことだと感じています。寄付募集は9月をもって締め切りますが、支援活動は継続して行っていく予定です。ウイルスの早い終息を願いながら、わたしたちが新型コロナウイルスを通して何に目を向け、誰に手を差し伸べるのか、教会という共同体であるからこそ働けることがあると感じています。

カリタス家庭支援センター  
相談員 岡田惟史



## コロナ禍の排除 「おなじ「人」なのに」

「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」が閣議決定され、四月二十七日付で住民基本台帳に記載されている全

国すべての人に対して「特別定額給付金（十万円）」の支給が決まりました。多くの方は、住民基本台帳に記載されていると思いますから、それがいつ支給されるかが大きな関心事だったと思います。

しかし、支援の現場ではすぐに大きな課題を抱えます。それは、住民基本台帳に記載されていない人々、路上や公園で暮らす路上生活者（ホームレス）と難民申請者などの外国人の存在です。

そのため、三月末で留本に滞在することができ「在留資格」が必要だからです。そのため、三月末で留学や技能実習を終え、帰国する予定だったけれども、飛行機が飛ばないため、在留期間を越えてしまっている人がいます。在留資格を「短期滞在」に変更して滞在できるようにしました。ところが、在留資格「短期滞在」は住民登録できませんから、彼らも給付の対象外となってしまうと。政府への要請の結果、帰国できない人は、在留資格を「特定活動」に変更し、各自治体へ住民登録の継続を申請することとなり、給付金の受給が可能となりました。しかし、

帰国できない間の生活費は自分達で用意しなければならず、いつ帰国便に搭乗できるかわからない中、今も多くの外国人が

ために、三月末で留本に滞在することができ「在留資格」が必要だからです。そのため、三月末で留学や技能実習を終え、帰国する予定だったけれども、飛行機が飛ばないため、在留期間を越えてしまっている人がいます。在留資格を「短期滞在」に変更して滞在できるようにしました。ところが、在留資格「短期滞在」は住民登録できませんから、彼らも給付の対象外となってしまうと。政府への要請の結果、帰国できない人は、在留資格を「特定活動」に変更し、各自治体へ住民登録の継続を申請することとなり、給付金の受給が可能となりました。しかし、

その時を待っています。そして、受刑者は支給対象となる一方で、難民申請者など非正規滞在者は、日本にいる「人」であるにも関わらず、やはり対象外となりました。外国人支援団体及び日本カトリック難民移住移動者委員会では、給付金の対象外となる人への支援を開始しました。支援団体が持っている基金には多くの寄付が寄せられ、難民申請者や仮放免という形で法務省・出入国在留管理庁の施設外での生活を認められた多くの人から申請がありました。五月から始めた支援は八月十日現在、千人を越え、寄付総額は三千万円にもなり、支援を通して、改めて彼らの存在が明らかになりました。札幌教区内には難民申請や仮放免中で給付金対象外となる外国人がほとん

## コロナ禍の札幌教区正義と平和協議会

### ▽運営

教区正平協の母体となる札幌地区正平協、及び六地区正平担当者会議は、集まって話し合うことが基本とされてきました。しかしながら、札幌教区では二月から六月まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために公開ミサと集会が自粛となり、現在もミサが分散して行われています。生ま



れたばかりの教区正平協も、集まって協議することは出来ません。また、参加者が北海道という広い地域に住んでいるため、集まらないで話し

どいがないため、身近に感じられないかもしれせん。ですが、カリタス家庭支援センターとの協働で行っている「特別寄付」に届けられたテレフォンカードは全て、NPO法人北関東医療相談会（通称：アミーゴス）を通じて、仮放免によって施設から出てきた人々にお渡ししました。彼らが再収容された際には、唯一外部の人（家族や友

人）と繋がる手段である施設内の公衆電話で利用されます。テレフォンカードは、彼らの唯一の心の支えとなっていますが、何よりも一番の希望は、一日も早く彼らの存在が日本で認められ、再び家族と一緒に暮らす日が実現されることです。

難民移住移動者委員会  
西千津

合うことが可能で、しかも、移動のための時間や費用を必要としない、オンラインによる会議形態を採用することとなりました。

教区正平協の総会は、五月二十六日にオンライン（Zoom）で行われ、二〇二〇年度活動目標・計画・予算の他、教区正平協の運営を担当する事務局十一名と会計監査一名、それに教区正平協規約を決定しました。

最終火曜に行われる「例会」と、その2週前に行われる「事務局会議」をベースとしつつ、適宜、講演会、学習会等を企画、実施しています。今年、それらは全てオンライン（Zoom）を利用、教区カトリックセンターからも数人が参加しています。以下は、これまでの講演会、学習会等です。

・七月二八日(火)：「民族の誇りと共生を求めて―朝鮮学校の今」：北海道朝鮮初中高級学校校長 朴大宇（パク・テウ）さん  
・八月二二日(出)：「ヌチドウ宝 命こそ宝―聴こう沖繩の声を、知ろう沖繩の現状を、分かち合おう沖繩の痛みを」：那覇教区 ウェイン・パーント 司教  
未来、隣人、日本国民としての責任を痛切に感じるとともに、不正義の横行に胸が痛くなりました。

### ▽見えてきた課題

が概ね整い、ネット環境さえあれば全道のどこからでも教区正平協に参加可能となったのは今後大いに期待が持てることです。教区正平協への参加には、まず「メールアドレス」にメールアドレスを登録するのが近道です。例会、学習会、講演会の案内が都度配信され、メール本文の案内に従ってZoomへの参加申込をすると、イベント当日に招待メールが送られてきます。その本文に記されているURLをクリックすることで自動的にZoomに参加出来る仕組みです。地区それぞれの課題、悩みがあるかと思いますが、それらの課題を共有しませんか。メーリングリストへの登録は次のアドレスまでお申し込みください。

ka32847@bj9.so-net.ne.jp  
旭川五条教会 浅井繁

定期的な活動は、毎月  
総会後の活動  
道すじ」：行動する市民科学者の会事務局長  
小野有五さん

■ 訃報 ■

※神様のみもとの安息をお祈りください

■ フランススコ修道会  
▽ヨハネ・エバンジェリ  
スタ山本遼神父

札幌教区では主に北見地区で司牧。8月上旬に全身にガンが転移していることが分かり療養中のところ瀬田修道院にて8月24日午後5時5分右腎臓がんのため帰天。享年76歳

【略歴】

1944年1月6日誕生  
1967年3月21日着衣  
1968年3月22日初誓願  
1971年3月28日在職誓願  
1973年3月24日司祭叙階  
2020年8月24日帰天

■ マリアの宣教師フランシスコ修道会

▽ Sr.マリア・ヨゼフィナ 大西節子

かねてより病氣療養中のところ、西円山病院にて5月26日午後7時46分帰天。修道生活62年。享年88歳

【略歴】

1932年3月25日誕生  
1958年3月19日入会  
1963年9月17日終生誓願宣立  
2020年5月25日帰天

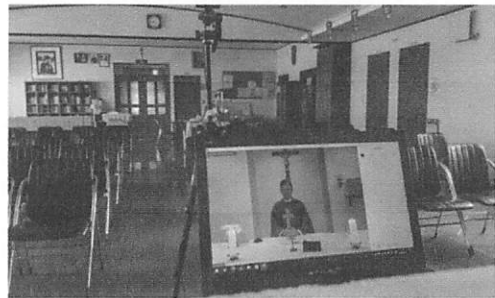
教区の風

「今できる福音宣教の新たな試み」

新型コロナウイルスの影響で、社会だけでなくわたしたちの教会も大きな影響が出ている状況は今もなかなか改善されません。わたしが担当している教会も、七月から分散ミサを行っています

が、たとえ十分な対策を取った分散ミサでも感染の可能性はゼロにできません。そのため対策をしながらでも「感染が怖い」という声はあり、この三月から一度も教会に来られていない方もいます。教会では高齢化が進み一度感染者が出ると大事になります。信徒の皆様はできうる限りの対策を行いながら手探りで教会運営を行っています。

いまわたしたちはどのように生活し、他者と関わり、福音を宣教することができのかが大きな課題となつて目の前に立ちふさがります。しかし、家に引きこもって災厄が過ぎ去るまで何もしないという時期はすでに過ぎており、どのような形であれ新しい行動様式、新しい関係の在り方を探し出さなくてはならない時でしょう。



菊地大司教様が毎週行っているミサのオンライン中継もそうですが、札幌教区においても一部の司祭による動画配信サイト「YouTube」を活用したミサ配信が行われるなど、まさに新しい時代の、新しい福音宣教の幕が開きつつあります。これからの時代は、それが善いか悪いかの判断は後の世代に任せるとしても、SNSや動画配信サービス、インターネット会議システムなどを福音宣教の手法として取り入れる必要に迫られています。しかし多くの司祭にとっては、これまで培ってきた福音宣教の手段は、人と顔を合

わせないながら体温を感じる距離感においてイエス・キリストを伝える、神の愛を伝えることこそが福音宣教であると思つてい

はテレワークや、オンライン会議など、主にインターネットを活用としコミュニケーションが大きな力を発揮しています。そのためインターネットにかかわりが薄かった高齢世代にとつても大きな変化の時となつています。

がそう思っています。しかし、どんなときにもイエスの福音を伝えることが福音宣教者の使命だとするならば、何もせずに教会にこもっているよりは、できることから始めたい、聖霊の促しと新しい福音宣教があるの、だとも感じます。

わたしはこの四月からインターネット会議システムの「Zoom」を利用している。早い朝ミサの時間帯に、教会の比較的若い世代の方に声をかけて朝ミサを配信してみても、今では高齢者も含め多くの方が「Zoom/ミサ」に参加しています。また今では「聖書勉強会」や、「子供たちとの夕べの祈り」などにもこの「Zoom」の活用が広がっているところ

佐久間 力